

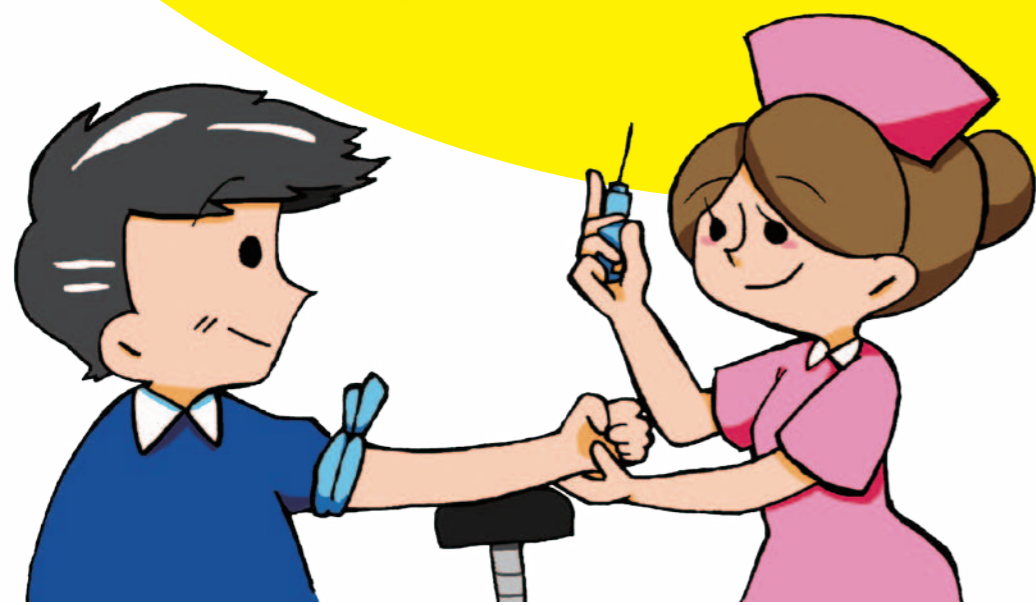
中高年に急増しているサイレントキラー

前立腺がん にご注意を!

ご存じですか?



日本における男性がんの罹患数(新しく発症するがん患者数)は、2015年には胃がん、肺がんを抜いて、はじめて**前立腺がんが第1位**となりました。



(国立研究開発法人 国立がん研究センター:2015年4月28日公表データより抜粋)

PSA検診を受ければ

わずか**1ml**の採血で
前立腺がんは早期発見でき、
がん死のリスクが低くなります。

PSA検診受診

住民検診は50歳から
人間ドック検診は40歳から

前立腺がんは日本人男性で最も発症数の多いがん*1。まったく自覚症状がないまま、転移がんへ進行する危険性があり、年間1万人以上の方が前立腺がんによって死亡しています。

PSA検査は、早期がんを発見できる、簡単で信頼性の高い血液検査です。

- 1 PSA検査を受けることで、転移がんへ進行する危険や前立腺がんによって死亡する危険が減ることが、質の高い研究で証明されています。
- 2 PSA検診は住民検診では50歳からの受診が可能で*2、人間ドックでは40歳からの受診*3をお勧めします。何らかのがんを疑う兆候がある場合、一般の医療機関でもPSA検査が受けられます。ご家族(特に親・兄弟)に前立腺がんの方がいる場合、危険性が高くなるため40歳からの検診受診を強くお勧めします。
- 3 PSA検査が異常値の場合、がんの確定診断には前立腺生検が必要になります。PSA検診では、治療の必要がないおとなしいがんが見つかることもあります。
- 4 前立腺がんやPSA検査について詳しいことを知りたい方は、かかりつけ医や泌尿器科の専門医に相談することをお勧めします。当財団のHPでも、様々な情報提供を行っています。

*1:国立研究開発法人 国立がん研究センターの男性がんの罹患数(新規発症がん患者数)統計データによると、2015年度にはじめて前立腺がんが、男性がんの第1位となりました。
 *2:2015年度の当財団の調査によると、83%の市町村でPSA検診を実施しています。受診可能な年齢は、市町村によって異なる場合があります。お住まいの地域の保健センターなどへお問い合わせください。
 *3:ほとんどの人間ドック施設で、ご本人の希望によりPSA検査をオプションで受けられます。

公益財団法人前立腺研究財団

<http://www.jfpr.or.jp/>

後援 公益社団法人日本医師会 一般社団法人日本泌尿器科学会